



浅口市立鴨方西小学校

# かもしNOW

(文責 校長：三浦 嘉子)

R5. 5. 15



5月になり、各学年ともに教室での学習に加えて、校外での体験学習や出前授業など、様々な形態での学習が始まりました。

## 【5月の鴨西①：さつまいもの苗植え】

1年生・2年生は、5月11日に水辺の楽校で、さつまいもの苗植えを体験しました。指導員の伊澤さんと谷田さんから苗の植え方を教えて頂き、子どもたちは丁寧に苗を植えました。苗を植えた後、「早く大きくなってね」「おいしいおいもになあれ」と、苗に向かって優しい言葉で声がけし、教室に戻った後は、絵や文章で、体験学習を振り返りました。さつまいもの苗の根っこは、紫色なのですね。子どもたちの絵で知ることができました。伊澤さん、谷田さん、水辺の学校、今年もお世話になります。



## 【5月の鴨西②：ごみの学習】

4年生は、5月10日にごみの出前授業を受けました。講師の先生は、浅口清掃センターの皆さんです。家庭ごみについて、もえるごみ、もえないごみ（粗大ごみ）、資源ごみ別に、ごみステーションに出されてから、ごみ収集車で集められて最終処分場に運ばれるまでの流れを学びました。ごみは、紙・アルミ缶・びん等をきちんと分別することで原材料に戻したり再利用できることを再確認し、自ら分別する体験を通して、限りある資源を大切にするためには、分別が重要であることを学びました。



6月には、里庄清掃工場に見学に行く予定で、もえるごみが灰になって、最終処分場で埋め立てられるまでの流れを学びます。

冊子「第2次浅口市環境基本計画」を市から提供頂いたので、子どもと一緒に冊子を見てみました。浅口市のごみ排出量が、令和3年度で11,505トンで、平成29年よりも8.8%減少しているとの事、人々の環境への意識の高まりで、ごみは大幅に減少するのですね。今回のごみの出前授業で、子どもの意識も高まっていることと思います。